

単元（題材）目標

○福祉対象の当事者の方々や福祉に職業やボランティアとして関わっている方々との交流を通して、福祉的心情を育む【道徳的視点をもって】

(1) 実施時期

3月上旬

(2) 対象（学年等・人数）

中学校3年生（卒業前の特別時間割として）クラス単位で合計200名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

港北手話サークル「梅の会」のみなさん 7名

学年担当者1名



(4) 実施内容

福祉体験5種類（高齢者体験，認知症理解，点字，車いす，手話）の一つとして実施。
1クラス単位（40名）ずつ，40分間で実施。

	場所	内容
手話	金木工室	聞こえない方のこと（レクチャー） 簡単な手話 自分の苗字を手話で（一人ひとり行い，代表発表） 手話コーラスをいっしょに（世界に一つだけの花）

(5) 成果

*専門性を備えた方が，グループ単位について指導して下さったので，生徒の内容理解も深まったと思われる。

<生徒感想より>

- ・手話を覚えるとしっかりと話すことができる。
- ・手話だけではなく，表情が大切。
- ・手話で漢字も表せる。
- ・難しいと思っていたが，理解できて楽しむことができた。

(6) その他

- *協力団体の方との事前調整が大事である。
- *お礼状を書き発送。喜んでいただけてよかった。
- *生徒たちの福祉意識向上につながった。